



## 2023 年度事業計画

2022 年度よりも感染症については様々な社会活動が緩和されたが、引き続き選手やスタッフ、会員様の安全と健康を第一に事業を行っていく。スポーツ庁高橋プラン及び第 3 次スポーツ基本計画に準じて、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す。地域におけるパラカヌースポーツの環境改善、新規構築を目指し、各種加盟団体、連携団体、自治体等、関係団体と連携し、安全で健康な活動となるよう取り組む。

カヌースポーツを親しむ人口増加と合わせて、世界へ羽ばたく選手やスタッフの発掘及び育成を目標とし、地域連携や次世代の育成を行う。また、持続可能な自立した運営を目標とし、ガバナンス強化及び組織運営体制の強化のために関係者の意識の統一を図り、活動を多方面に拡大する方針とする。

本会の目標と合わせて、活動全てにおいて「地球上の誰一人として取り残さない」ことを共通理念に掲げ、2030 年を達成期限とする SDG s 達成に向けた取り組みを行う。

### 理事会

ガバナンスコード適合性審査で課題となった改善点や持続可能な組織運営体制の構築について引き続き検討する。地域で独自で設立した障害者カヌー協会との連携体制の構築を目指し、各地域で地域主体となる事業展開を進める。

組織運営関連研修会、ガバナンス研修会や日本パラリンピック委員会加盟団体会議、障がい者スポーツ協議会会議出席等、各方面の情報収集及び情報共有に努める。

### 事務局

#### 【広報事業】

- ・公式 HP、Facebook、Twitter の活用とフォロワー数の増加のため選手たちと連携
- ・選手へ向けた SNS 活用方法や広報指導
- ・メディア露出、取材対応など、個人アカウントと連携した広報活動
- ・サポーター会員、選手、スタッフなど協会事業での協賛企業ロゴ露出の徹底
- ・代表チーム、サポーター会員、J-STAR スタッフユニフォームのロゴ露出
- ・9 団体統合プロジェクト(仮名) でのスポンサー企業の獲得のための事業

#### 【基盤整備事業】

- ・協賛企業獲得活動 協賛契約企業獲得に向けたセールス活動、NF 横断した新プロジェクトでの協賛企業獲得のための活動
- ・業務体制改善 会議のリモート化による活発な機会の創出、リモート化による業務環境の改善
- ・経費削減 パラスポーツサポートセンターのバックオフィス機能の経理、労務、法務を全面活用

パラスポーツサポートセンターのシェアードサービスへ全面的移行を行うことで、労務・法務・経理業務を外注化することで運営基盤の透明化を図る。



## 各委員会計画

### 【普及事業】

- ・パラカヌー体験会 全国 5 か所の以上開催

実施場所：千葉県佐倉市・カヌー・スラロームセンター・菱刈川カヌー競技場・Canoe Base・江戸川区親水公園・しゃくなげ湖カヌー競技場等候補地として選出

- ・主催大会 2 大会を実施

大会名：第 6 回全国 200M 競漕(7 月 29 日 30 日)、第 1 回カヌーチャレンジ大会(7 月 15 日)

- ・サポーター講習会を 5 か所で開催（普及人材育成事業：カリキュラムに基づいた講義とワークショップ）

自治体や企業からの委託事業の受託

- ・東京都多摩障害者スポーツセンター室内プールプログラムへの協力（年間 6 回実施予定）

- ・サポーター会員フォローアップ研修会の実施

- ・室内体験や広報用のバーチャルカヌー体験器具の開発と研究

- ・公式指導者教本（仮名）の制作と配布

### 【競技委員会】

#### ①選手強化・競技活動スケジュール

4 月 JISS、NTC 活用したスタート合宿(各種研修会)

5 月 6 日～16 日 ワールドカップ大会派遣

6 月～8 月 世界選手権大会事前合宿

8 月 17 日～27 日 世界選手権大会派遣

8 月 27 日～9 月 4 日 パリ大会テストイベント派遣（未定）

9 月 日本選手権大会

9 月 アジア選手権大会事前合宿

10 月 アジア選手権大会派遣（日本選手団として JPC より派遣）

11 月～3 月上旬 菱刈川カヌー競技場 フリー合宿

3 月末 海外派遣選考会

※予算配分によって主要大会及び事前合宿を優先とし、その他は調整する場合がある。

#### ②事業計画

・2024 年パリパラリンピック大会に向けた強化活動及び、2026 年ロス大会に向けた選手・スタッフの発掘育成事業を実施する。

・動作解析や映像分析を活用した新しい取り組みを実施し、強化システムの構築につなげる。

・リモートでの遠隔指導システムの構築とデータ蓄積とフィードバック、科学的指導の継続実施

・世界選手権大会出場、パリ大会出場権の獲得を目指す。

・パリ大会に向け JPC 加盟団体との連携を図り、オールジャパンとして活躍できるチーム作りを行う。

・J-STAR 事業第 6 期生選手の地域検証実施（鹿児島県、石川県から合計 5 名）



- ・J-STAR 事業第 7 期生共通測定会参加、地域連携体制を構築
- ・選手の強化と並行して、指導者やスタッフの専門性を高めるため JPC 主催の研修に参加し全体のレベルアップと意識向上（リモート開催）トレーナー連絡会議、ドクター連絡会議、クラス分け担当会議、コーチ会議、アンチドーピング研修会、映像サポート研修会、栄養サポート連絡会議などの参加等、内部人材の育成と自己研鑽に取り組む。
- ・新規公式資格制度を設ける パラカヌーコーチ講習会実施

#### 【医科学委員会】

- ・日本代表 ABC 選手のメディカルチェック、薬物調査
- ・代表選手、強化スタッフの情報共有及び体調管理
- ・アンチドーピング年間教育計画の策定と教育の徹底
- ・アンチドーピング委員会の発足と JADA 加盟のための準備

#### 【クラス分け委員会】

##### 事業項目

1. 競技会内国内クラス分け 木場潟カヌー競技場、府中湖カヌー競技場
2. 国内クラス分け委員養成講習会開催 7 月 29 日、30 日 木場潟カヌー競技場
3. 競技会外国内クラス分けの実施検討
4. 国際大会前の国内クラス分けの実施、検討
5. 国際クラス分け委員ワークショップへの委員派遣

#### 【トレーナー部会】

- ・パラカヌートレーナー育成合宿の開催  
エルゴ操作、船出し、ウォーミングアップのブラッシュアップなど、パラカヌートレーナーとして関わるうえで必要となるスキルを習得する（未経験者もしくは拠点作りに重要なエリアの部員から優先し、1泊2日で予定）
- ・トレーナー部会内でオンラインセミナーを開催する  
セミナー 1：パラカヌーのクラス分けについて  
セミナー 2：熱中症、AED、脳震盪時の対応について  
セミナー 3：水上事故とその対応について  
セミナー 4：J-STAR の目的と役割について

#### 【女性スポーツ委員会】

- ・委員会の開催（年 2 回）
- ・協会内各委員会との連携、情報共有。



- ・ J P C 女性スポーツ委員会出席

【アスリート委員会】

- ・委員会の開催

4月、8月、11月、2月頃の4回開催予定。

\* 競技活動、普及活動、協会運営等に関する必要事項についての話し合い。

\* 競技活動、普及活動、協会運営等に関する各種情報共有。

- ・その他

協会内各委員会との連携、情報共有。

J P Cアスリート委員会、W A D A、J A D Aなど、外部団体の情報共有。